

かし輪だより

R07-5



令和7年度 第5回地域協働学校運営協議会

令和7年10月21日(火)15時30分～16時30分 柏木小学校 算数教室

次 第

司会：副校長

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 11・12月の行事について(教務主幹)
- 4 生活指導について(生活指導主幹)
- 5 運動会について(運動会主任)
- 6 運営協議会委員の皆様との懇談

テーマ:大人の学び探求・学びなおしについて

- 7 教育委員会事務局より
- 8 その他

☆ 会長より 挨拶

運動会お疲れさまでした。先生方がとても頑張っていたら良かったです。今朝、子どもたちに「運動会お疲れさまでした」と声をかけたところ、「疲れてないよ!」と元気に答えてくれました。お天気にも恵まれ、子どもたちの活躍する姿を見ることができて、とても良かったです。ご招待いただき、楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

☆ 校長より 挨拶

運動会には多くの皆様にお越しいただき、ありがとうございました。子どもたちの元気いっぱいの姿、そして教職員の頑張る姿を見ていただけたことと思います。温かいご声援とご観覧に感謝申し上げます。

☆ 11・12月の行事について(教務主幹)

運動会では、多くのご協力をいただきありがとうございました。運動会の後には毎年、保護者の皆様が撤収作業をお手伝いくださり、柏木小のよい伝統だと感じています。子どもたちのために、学校だけでなく、保護者の皆様や地域の方々と三位一体で取り組めることに、改めて感謝しています。11月には希望制の個人面談が控えております。また、12月には音楽会を開催いたします。保護者の席取りに関して不公平感を感じるというご意見をいただきました。そこで今回は、子どもたちにくじを引かせて、保護者の観覧場所を決めるという新しい方法を試みる予定です。

☆ 生活指導について(生活指導主幹)

避難訓練では、防火シャッターの点検を行いながら、火災時の避難経路と避難方法を確認しました。

前回ご質問のありました「hyper-QUテスト」についてですが、新宿区立の小学校では3年生以上を対象に実施しています。本校では、学校予算を用いて2年生から実施しています。このテストは、よりよい学校生活や友達づくりのためのアンケートとして、年に2回実施しています。子どもたちは率直に回答しており、その結果をもとに、教職員間で情報を共有しています。

❖ 運動会について(運動会主任)

天候にも恵まれ、予定通り無事に開催できたことが何よりでした。運動会の練習が続いたことで疲労もあったのか、体調を崩して当日欠席した児童もあり、難しい面もありますが、もう少しケアできればよかったと感じています。運動会当日は、子どもたちのいきいきした表情がとても印象的でした。係の仕事をしっかりとこなし、下級生の面倒を見ている高学年の姿には、大きな成長を感じました。また、終了後には保護者の皆様にお手伝いいただきながら、5・6年生も一緒に片付け作業を行うことができ、とてもよい経験になったと思います。子どもたちは、勝ち負けの中で嬉しさや悔しさを味わいましたが、それを超えてやり切った表情を見せてくれました。その姿に、運動会の成功を実感することができました。

❖ 運営協議会委員の皆様との懇談 テーマ:大人の学び探求・学びなおしについて

- ・学校を卒業したら、大人は学ばなくなってしまうのではないのか、どうして学ばなくなってしまうのか、ということを考えています。日常的に「テーマ」という言葉を使われるか調査してみたところ、圧倒的に使っていない大人が多いようです。その一方で、小学校の探求学習では「テーマ」という言葉がよく使われているようで、自分たちが経験していないことを子どもたちに押し付けていないか、という疑問を持っています。
- ・「テーマ」という言葉はあまり使わないですが、「問い」という言葉をよく使います。「テーマ」だと抽象的ですが、「問い」であれば、答えを導きやすいと思います。最近は、「社会とは」という問いを持っていて、その中で自分がどのような役を引き受けるのか、ということをよく考えています。
- ・私のテーマは、固定概念を外す、ということです。語るよりも表現しよう、ということで、地域のハロウィンイベントで仮装をしました。
- ・子どもたち、職場、地域が幸せになるためにはどうすればいいか、ということを常々考えていて、そのために熱意を持って仕事をしています。ただ、いろいろな先生がいて、いろいろな子どもがいてよいと思っています。探求とは、葛藤や迷いを抱えながらも、一生懸命頑張ることなのかなと感じています。
- ・塾の指導者をしているのですが、子どもたちと接する中で「言ったよね」「さっき教えたよね」「何回も聞かないで」ということは言わないように心掛けています。相手を見て、どうしたらこの子に伝わるのか、という問いを持ちながら活動しています。
- ・子どもの高校の先生が、生徒の持っている力をうまく引き出すような接し方をしてくださっていて、自分の子育てに取り入れたいと思っています。

❖ 教育支援課 社会教育指導員より

地域協働学校運営協議会は、学校によっていろいろな形があってよいと思っています。今日は協議会委員の皆様の経験から日頃感じていることを聞くことができ、非常に有意義な時間だったと思います。次回も楽しみにしております。